

報道関係各位

古いマンションやアパートにも設置できる宅配ボックス開発を進めています ～2024年を前に再配達を減らす「置き配」普及へ。7/19-20 賃貸住宅フェア出展～



※写真(右)：賃貸住宅フェア 2022 出展

郵便受け・宅配ボックスシェア No.1※の株式会社ナスタ（本社：東京都港区、代表取締役兼 CEO：笹川順平 以下、ナスタ）は、2023年7月19日～20日に東京ビックサイトで開催される「賃貸住宅フェア 2023」に出展します。

■背景と目的

集合住宅向けの宅配ボックスは「導入コストが高額」「後付けができない」「管理に手間がかかる」「屋外に設置できない」など様々な問題があり、特に小規模や古いマンションを中心に、まだまだ導入は進んでいません。

ナスタはそれらの問題を解決するため、2021年に集合住宅向け宅配ボックス「Nasta Box」を発売、電気工事不要のアナログキー（押しボタン錠）とデジタルキー（電子錠）を搭載した「プチ宅」シリーズをリニューアル、導入しやすい価格帯と物件規模を選ばない組合せ自在のモジュール方式で、新築やリフォームを問わず設置を可能にし、普及拡大に努めてまいりました。

そして、2022年には新たにスマートキー（ネットワークタイプ電子錠）を搭載したロッカーサイズタイプ「STANDARD シリーズ」を加え、着荷通知や遠隔での入退去管理ができる宅配ボックスが加わり、小型～大型まですべてのラインアップがそろった集合住宅向け宅配ボックスシリーズが完成しました。

これにより、宅配ボックス設置の際の選択肢が大幅に広がり、新築にもリフォームにも、アパートやマンションなど物件の規模を問わず導入できるようになりました。

今後ますます拡大する EC 需要に対応した置き配時代の住宅設備を、小規模や古いマンションへも導入を可能にすることで、社会問題の解決にも取り組んでまいります。

■ナスタの取り組み

これまでナスタは、物流課題の解決と住む人のストレスフリーを実現するため、宅配ボックスの商品開発と普及に取り組んできました。集合住宅向けの小型宅配ボックス「プチ宅」は、2013年の発売からシリーズ累計約31万台の出荷実績を達成、市場シェア No.1※を獲得し、再配達削減に大きく貢献してきました。

また、コロナ禍で広く普及した「荷物を指定した場所で受け取ることのできる『置き配』」において、大型郵便受け対応ポストや宅配ボックスは荷物の盗難や個人情報の保護、水濡れなど、玄関先にそのまま置かれる『置き配』の不安を解消、さらに在宅中でも非対面で荷物が受け取れることから、感染症の予防としても注目を集めました。2024年問題においても、再配達削減のソリューションとして国や自治体も宅配ボックス普及への取り組みを支援しています。

※ ナスタ調べ（2022年郵便受け・宅配ボックス市場シェア数及び実績販売数量より推計）

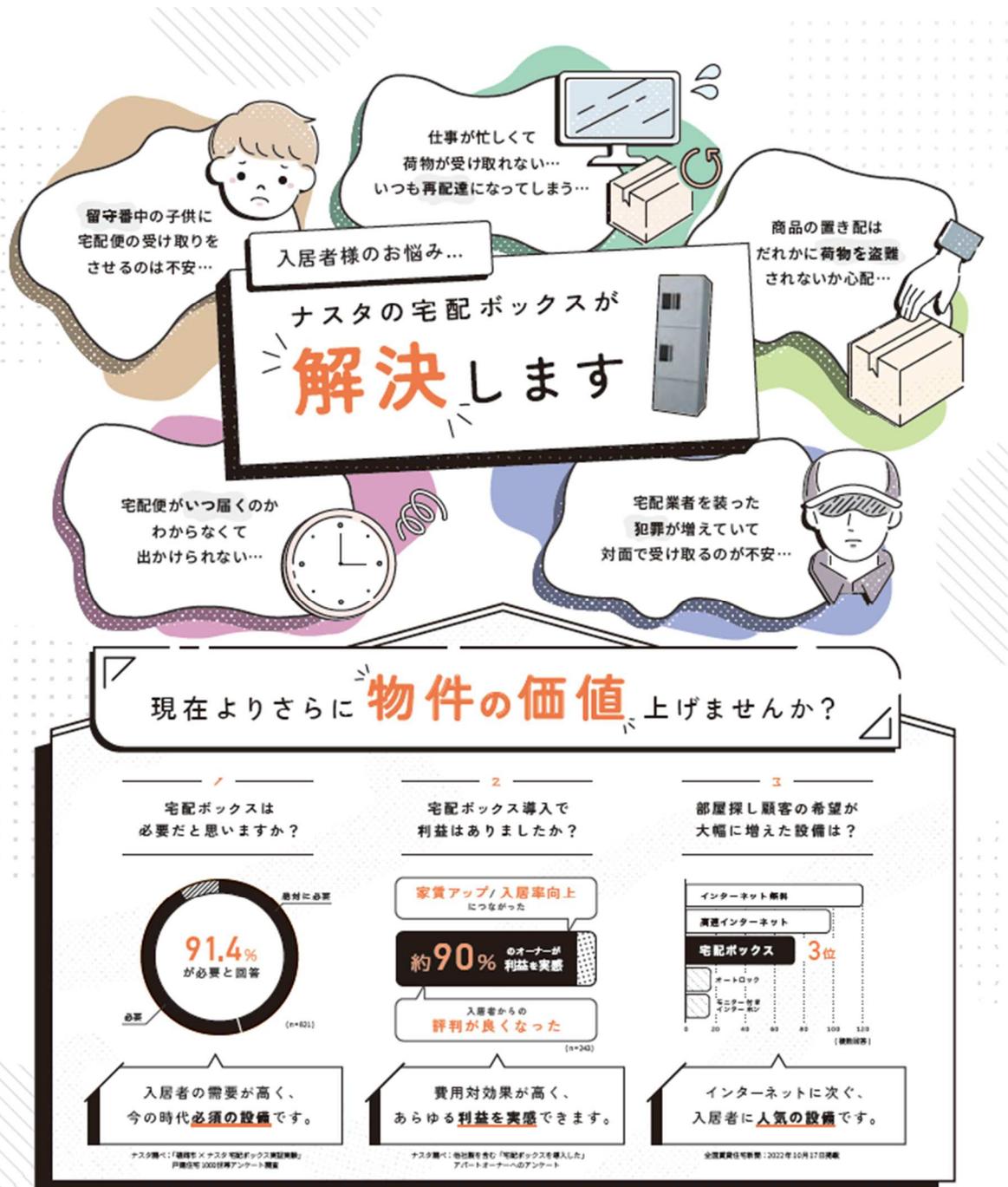
■賃貸住宅フェア概要

家主、地主、不動産会社、そして賃貸住宅市場に関わる全ての人のために、セミナーと企業の展示ブースで賃貸業界の最新情報を届けるイベントです。不動産業務支援システムや住宅設備・建材など約 200 社が出展します。

【会期】 2023年7月19日(水)~20日(木)

【会場】 東京ビッグサイト 西1・2ホール (〒135-0063 東京都江東区有明 3-11-1) / ナスタブース: A4-23

ナスタのブースでは、入居者のニーズや利用者様からの声などをご紹介しながら、オーナー様へ物件価値の向上や入居率向上につなげていただけるよう、宅配ボックス導入に際しての困りごとを一緒に解決してまいります。



〈会社概要〉

【代表者】代表取締役兼 CEO 笹川順平

【創業】1930年8月4日

【資本金】1億円

【事業内容】新しいライフスタイルの企画・開発

〈本件に関するお問い合わせ〉

株式会社ナスタ 広報担当 宮本仙葉

Tel: 03-6897-3537

Mail: s-miyamoto@nasta.co.jp